

配線チェック機

形名: **AT-Z01K**

取扱説明書

- 製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後も大切に保管し、必要なときにお使いください。
- この「取扱説明書」は最終のご使用家様までお届けください。


目次

1. 安全上のご注意	2
2. 各部の名称と働き	6
3. 使用上のご注意	8
3-1. 使用条件.....	8
3-1-1. 環境条件.....	8
3-1-2. 入力電圧.....	8
3-1-3. 消費電力と対応 CT.....	9
3-2. 使用前点検	10
3-3. 故障診断.....	10
4. 使用手順【1】装置本体に電源ケーブルとワニロクリップを取り付ける.....	11
4-1. 電源ケーブルの種類.....	11
4-2. ワニロクリップの種類.....	11
4-3. 電源ケーブルにワニロクリップを取り付ける	11
4-4. 装置本体に電源ケーブルを取り付ける	12
5. 使用手順【2】ワニロクリップを電路に接続する	13
5-1. 接続手順.....	13
6. 使用手順【3】運転時と停止時	15
6-1. 運転時.....	15
6-2. 停止時.....	17
7. 重量と外形寸法	19
8. 付属品.....	20
9. 保証の期間と範囲	21
9-1. 保証期間.....	21
9-2. 保証範囲.....	21
9-3. 保証の適用用途.....	21


1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、危険や損害を未然に防止するためのものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



表示の意味

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（※）を負う可能性が想定される場合を示します。
---	---

※：重症とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。





 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される場合を示します。
---	---

記号は次の意味を表しています。





 してはいけないこと  必ずすること

図の中や近傍に具体的な指示内容や禁止内容が表記されることがあります。




■ 保管・運搬のご注意

 警告	
 禁止	<p>落としたり、ぶついたりしない。一度でも強い衝撃や振動が加わった装置は使用しない。 火災・感電の原因。</p> <p>次のような環境で保管しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外。 ●周囲湿度が85%を超える場所。または結露する場所。 ●雨水、水滴、油などが直接かかる場所。 装置へ水滴が浸入すると火災・感電の原因。
 注意	
 禁止	<p>次のような環境で保管しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲温度が-20℃~+60℃の範囲を超える場所。 ●塵埃、粉塵の多い場所。 ●腐食性ガス、煤煙のある場所。 ●化学薬品などを貯蔵・取り扱う場所。 故障の原因。




■ 使用環境のご注意

 警告	
 禁止	<p>次のような環境で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲湿度が85%を超える場所。または結露する場所。 ●雨水（水滴など）、油などが直接かかる場所。 装置へ水滴が浸入すると火災・感電の原因。 ●引火性のもの（アルコール・ガソリン・ベンジン・シンナー・スプレー・ガスなど）の近く。 爆発・火災の原因。
 注意	
 禁止	<p>次のような環境で使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲温度が-10℃以下、+40℃以上の場所。 ●強いノイズ、サージ、電界、磁界などが発生する場所。 ●塵埃、粉塵の多い場所。 ●腐食性ガス、煤煙のある場所。 故障の原因。




■ 取り付け時のご注意

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●活線作業禁止。 ●単相2線式の電路に単相3線式/三相3線式用の電源ケーブルを使用しない。 接続しないワニ口クリップの金属部分が充電され火災・感電の原因。 ●電源ケーブルを束ねたままで使用しない。 火災・感電の原因。 ●電源ケーブルを無理に引っ張らない。傷つけない。重いものをのせない。 火災・感電の原因。
 指示	<p>以下の点を守って取り付け。(火災・感電の恐れ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●装置を確実に組み立てる。(電源ケーブルと本体の取付、電源ケーブルのパナナ端子とワニ口クリップの取付) ●電路への取付作業前に、電源(電源側開閉器)を切る。 ●電路への取付作業は、低圧電気取扱業務に係る特別教育受講者が行う。 ●電路の電源定格(相線式、電圧、周波数)が正しいことを確認する。 ●外れると危険なので電路へワニ口クリップを確実に取り付ける。 ●アース端子をアースに接続する。




■ 使用中のご注意

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ワニ口クリップに触れない。 感電の原因。 ●吸気口と排気口をふさいだり、異物を入れない。 火災・感電・やけどの原因。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●運転時はその場を離れず、常に運転状況を確認する。 ワニ口クリップが外れたり装置が倒されたりすると火災・感電の原因。 ●使用中にワニ口クリップが外れたら、直ちに負荷スイッチ(漏電ブレーカー)をOFFにする。 火災・感電の原因。 ●故障表示LEDが1個でも点灯したら、直ちに負荷スイッチ(漏電ブレーカー)をOFFにし、 10分間は装置表面に触れない。 装置表面が高温になる場合があり、やけどの原因。

■ 取り外し時のご注意

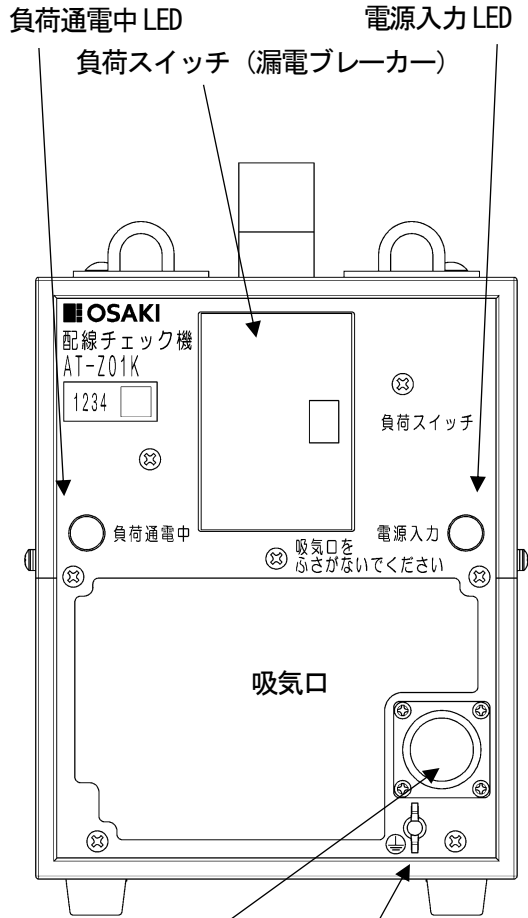
 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●活線作業禁止。
 指示	<p>以下の点を守って取り外す。(感電などの恐れ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取り外し作業前に、電源(電源側開閉器)を切る。 ●取り外し作業前に、負荷スイッチ(漏電ブレーカー)をOFFにする。 ●取り外し作業は、低圧電気取扱業務に係る特別教育受講者が行う。

■ 其他のご注意

 警告	
 改造 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 装置の改造・修理等は絶対に行わない。 火災や感電の原因。 改造・修理等を行ったことにより生じた事故については、当社は一切責任を負いません。
 指示	<ul style="list-style-type: none">● 装置本体はゴム足を下にし、安定した場所に置いて使用する。 ショルダーベルト等で体に密着した状態で使用すると、感電・やけどの原因。● 使用後の運搬は、装置が十分に冷えた後に行う。 やけどの原因。

2. 各部の名称と働き

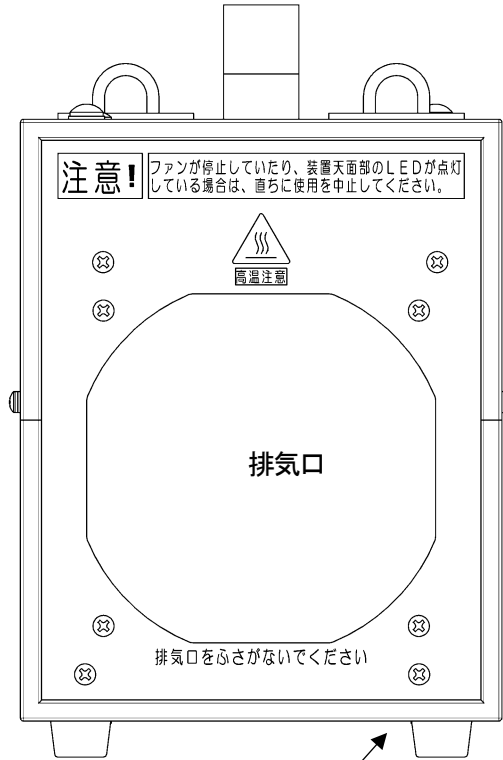
<正面図>



電源ケーブル接続用
コネクタ

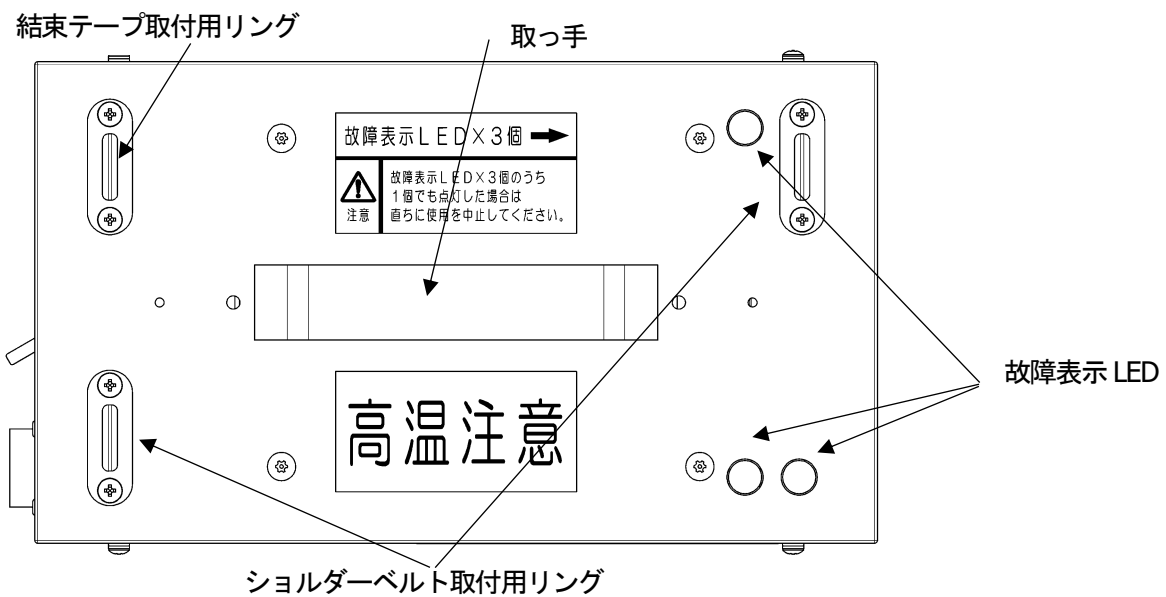
アース端子

<背面図>

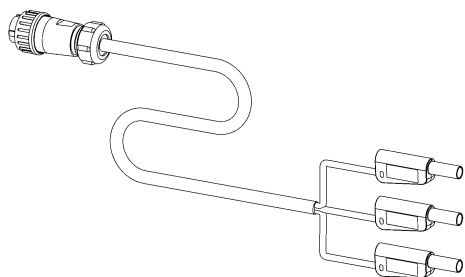


ゴム足

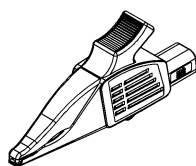
<天面図>



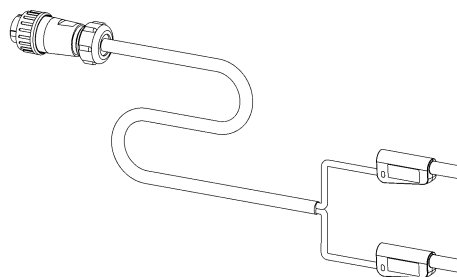
電源ケーブル3ロタイプ（単相3線式／三相3線式用）



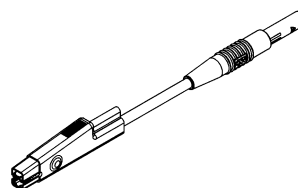
ワニロクリップ（大）



電源ケーブル2ロタイプ（単相2線式用）



ワニロクリップ（小）



名称	説明
結束テープ取付用リング	必要に応じて、運搬中に電源ケーブルを束ねる結束テープ等を取り付けられます。 なお結束テープは付属品またはオプション品として販売しませんので、お客様にてご準備ください。
ショルダーベルト取付用リング×2個	必要に応じて、ショルダーベルト等を取り付けられます。 なおショルダーベルトは付属品またはオプション品として販売しませんので、十分な耐荷重のものをお客様にてご準備ください。
故障表示LED×3個	1個でも点灯したら故障ですので、直ちに負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにし、10分間は装置表面に触れないでください。
電源入力LED	電源ケーブルより電源が供給されると点灯します。
負荷通電中LED	電源ケーブルより電源が供給された状態で、負荷スイッチ（漏電ブレーカー）がONになると点灯します。
負荷スイッチ（漏電ブレーカー）	電源ケーブルより電源が供給された状態で、ONになると配線チェック機が動作を開始します。
電源ケーブル接続用コネクタ	電源ケーブルを取り付けます。
アース端子	アースを接続します。
電源ケーブル×2個	本体とワニロクリップに取り付けて使用します。 電路の相線式に応じて、3ロタイプと2ロタイプの2種類を使い分けてください。
ワニロクリップ×6個	電源ケーブルのバナナ端子に取り付けて使用します。 電路に応じて大・小の2種類と、赤・白・黒の3色を使い分けてください。
ゴム足×4個	装置本体はゴム足を下にし、安定した場所に置いて使用してください。

3. 使用上のご注意

- 精密機器のため、強い振動・衝撃を与えないでください。
- 「3-1. 使用条件」を守ってください（電源の相線式・周波数・定格電圧、対応 CT [対応計器用変流器]、温度・湿度）。
- 「3-2. 使用前点検」を実施してください。
- 輸送中の振動により負荷スイッチ（漏電ブレーカー）がトリップした場合は、スイッチを一度 OFF 側に戻してから ON 側に再投入することで復旧します。
※トリップ：輸送による振動や、漏電・過電流により、漏電ブレーカーのスイッチが中間位置で止まること。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。

3-1. 使用条件

3-1-1. 環境条件

環境条件	使用条件	保管条件
温度	最高 40°C、最低 -10°C	最高 60°C、最低 -20°C
湿度	85%以下。ただし結露のないこと。	85%以下。ただし結露のないこと。

3-1-2. 入力電圧

- 本装置は 100V・200V・240V 専用です。CT 無し電力量計または CT 付電力量計に使用できます。
VT 付電力量計には使用できませんのでご注意ください。 ※CT：計器用変流器、VT：計器用変圧器
- 定格電圧に対し、±10%の電圧変動まで使用可能です。

（例：定格電圧が 100V の場合、電圧変動は 90V～110V まで可能です）

相線式	定格電圧	定格周波数
単相 2 線式	AC100V	50Hz または 60Hz
	AC200V	
	AC240V	
単相 3 線式	AC100/200V	
三相 3 線式	AC100V	
	AC200V	

※三相 4 線式には対応していません。

3-1-3. 消費電力と対応 CT

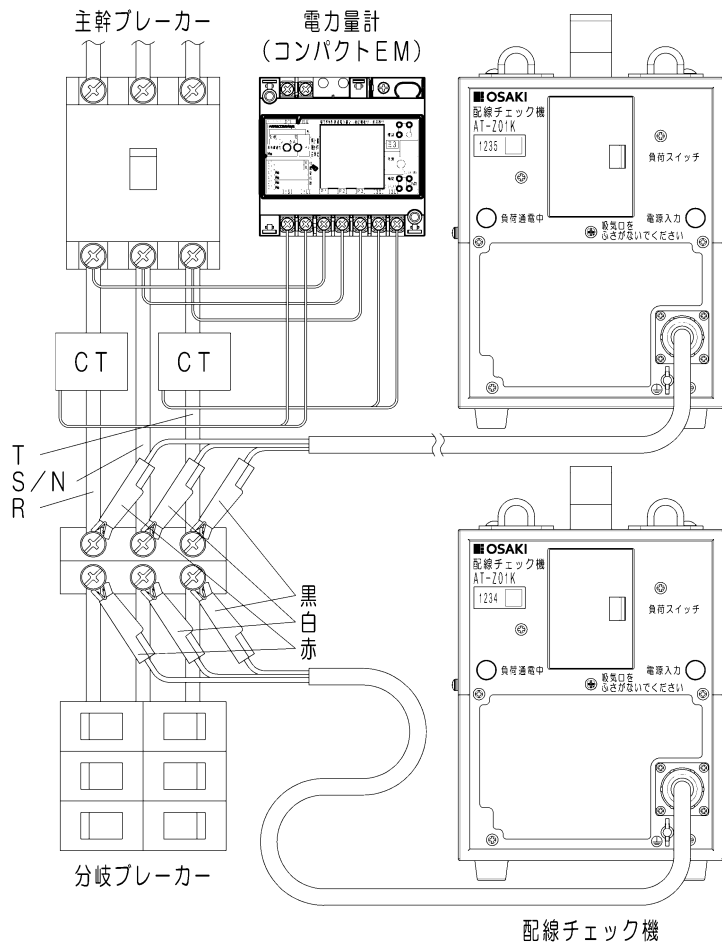
- 対応 CT の一次側電流値に応じ、本装置の使用台数を増やしてください。
- CT 無し電力量計の場合、本装置は 1 台で使用できます。

(例)

- ①CT 無し電力量計 単相 2 線式 100V 120A の場合 : 本装置を 1 台使用する
- ②CT 付電力量計 三相 3 線式 200V 400A/5A の場合 : 本装置を 1 台使用する
- ③CT 付電力量計 三相 3 線式 200V 500A/5A の場合 : 本装置を 2 台使用する

相線式	定格電圧	定格消費電力 (1 台使用時)	対応 CT の一次側電流値			
			1 台使用時	2 台使用時	3 台使用時	4 台使用時
単相 2 線式	AC100V	42W	120A/5A まで	121A/5A から 240A/5A まで	241A/5A から 360A/5A まで	361A/5A から 480A/5A まで
	AC200V	160W	400A/5A まで	401A/5A から 800A/5A まで	801A/5A から 1200A/5A まで	1201A/5A から 1600A/5A まで
	AC240V	230W	400A/5A まで	401A/5A から 800A/5A まで	801A/5A から 1200A/5A まで	1201A/5A から 1600A/5A まで
単相 3 線式	AC100/200V	170W	400A/5A まで	401A/5A から 800A/5A まで	801A/5A から 1200A/5A まで	1201A/5A から 1600A/5A まで
三相 3 線式	AC100V	120W	400A/5A まで	401A/5A から 800A/5A まで	801A/5A から 1200A/5A まで	1201A/5A から 1600A/5A まで
	AC200V	470W	400A/5A まで	401A/5A から 800A/5A まで	801A/5A から 1200A/5A まで	1201A/5A から 1600A/5A まで

<本装置を 2 台使用する場合>



3-2. 使用前点検

単相2線式用電源ケーブル（2口タイプ）を本体に接続し、以下を確認してください。

①【通電なし。負荷スイッチ（漏電ブレーカー）ON。】

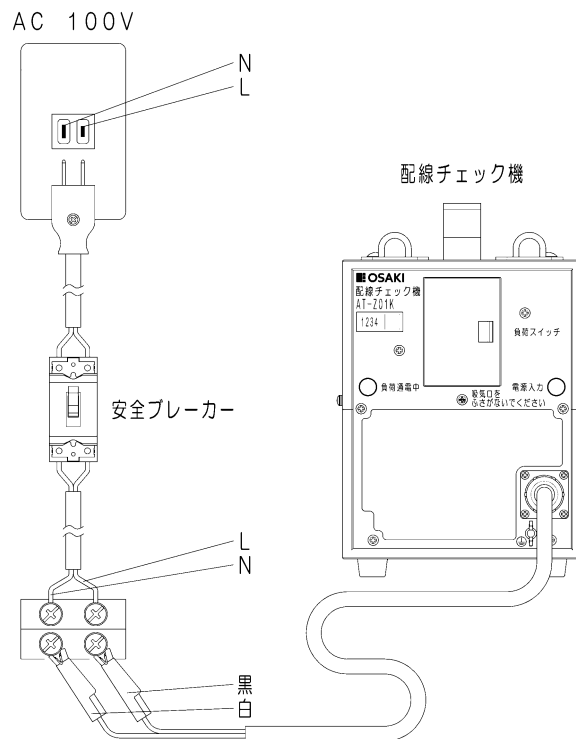
- ・テスターで「白(N) - 黒(L)」間の抵抗値を測定し、正常であること。

抵抗値の測定箇所	上限値 (Ω)	下限値 (Ω)
単相2線式用電源ケーブル（2口タイプ） 「白(N) - 黒(L)」間の抵抗値	263.0 (Ω)	251.0 (Ω)

②【100Vを通電。負荷スイッチ（漏電ブレーカー）ON。】

- ・漏電ブレーカー単体のテストボタンを使用し、漏電ブレーカーが正常動作すること。
- ・電源入力LEDと負荷通電中LEDが点灯すること。
- ・故障表示LEDが点灯しないこと（消灯したままであること）。
- ・ファンが動作すること。給気口または排気口にホコリがつかまっていないこと。

<コンセントから100Vを通電する場合>



3-3. 故障診断

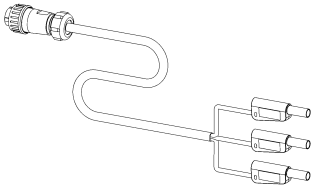
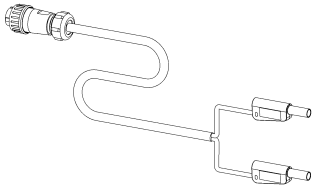
状況	対応
故障表示LEDが1個でも点灯する	直ちに使用を中止し、負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにしてください。このとき装置表面が高温になっている場合がありますので、10分間は手を触れないでください。
排気ファンが動作しない	直ちに使用を中止し、負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにしてください。
テスターで測定した抵抗値が正常でない	使用を中止してください。
漏電ブレーカーのテストボタンによる単体動作確認が不合格	使用を中止してください。
電源入力LEDが点灯しない	使用を中止してください。
負荷通電中LEDが点灯しない	使用を中止してください。

4. 使用手順【1】装置本体に電源ケーブルとワニロクリップを取り付ける

4-1. 電源ケーブルの種類

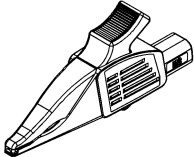
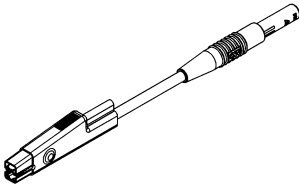
回路の相線式に合わせて、以下2種類の電源ケーブルを使い分けてください。

- ① 3ロタイプ（単相3線式／三相3線式用）： 先端のバナナ端子に3個のワニロクリップを取り付けます
- ② 2ロタイプ（単相2線式用）： 先端のバナナ端子に2個のワニロクリップを取り付けます

種類	3ロタイプ (単相3線式／三相3線式用)	2ロタイプ (単相2線式用)
長さ	2メートル	2メートル
外観		
先端形状	バナナ端子 3個	バナナ端子 2個
ケーブルカラー	赤 白 黒	黒 白

4-2. ワニロクリップの種類

回路の端子に合わせて、以下2種類のサイズのワニロクリップを使い分けてください。

名称	ワニロクリップ (大)	ワニロクリップ (小)
口径	30mm	7.5mm
色	赤、白、黒 (各色1個ずつ)	赤、白、黒 (各色1個ずつ)
外観		

4-3. 電源ケーブルにワニロクリップを取り付ける

下表の組み合わせにしたいが、電源ケーブルとワニロクリップを正しく取り付けてください。

種類	電源ケーブル		ワニロクリップの色
	マーキング	色	
単相3線式／三相3線式用 (3ロタイプ)	R	赤	赤
	S/N	白	白
	T	黒	黒
単相2線式用 (2ロタイプ)	N	白	白
	L	黒	黒



警告

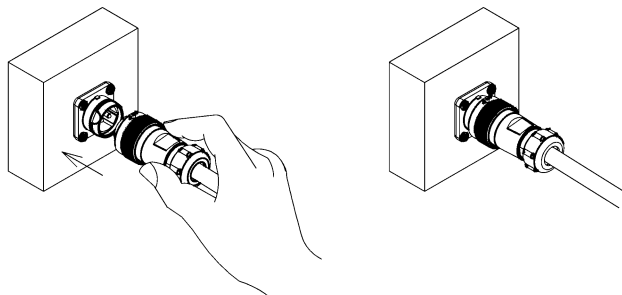
●電源ケーブルのバナナ端子とワニロクリップは確実に取り付ける。
外れると火災・感電の原因。

4-4. 装置本体に電源ケーブルを取り付ける

装置本体に電源ケーブルを取り付けてください。

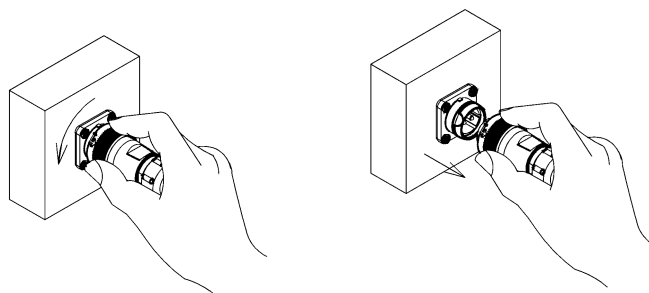
<取り付け方>

電源ケーブル接続用コネクタと電源ケーブルのガイドを合わせ、まっすぐに押し込みます。
軽く当てて回転させることによってガイドを合わせることができます。



<取り外し方>

矢印の向きにカップリングナットを左へ45°回転させたまま引き抜きます。



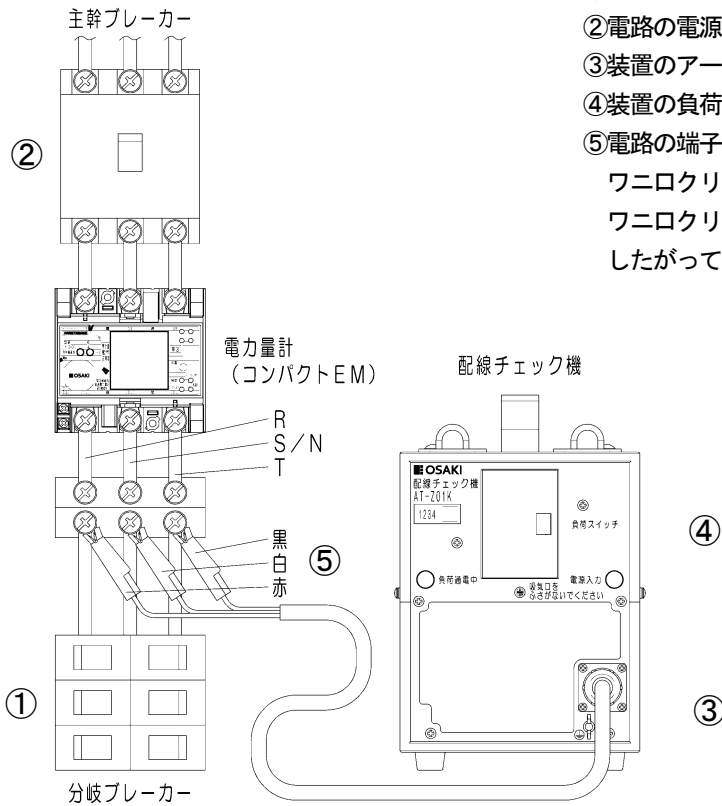
警告

●電源ケーブルと本体は確実に取り付ける。
外れると火災・感電の原因。

5. 使用手順【2】ワニロクリップを電路に接続する

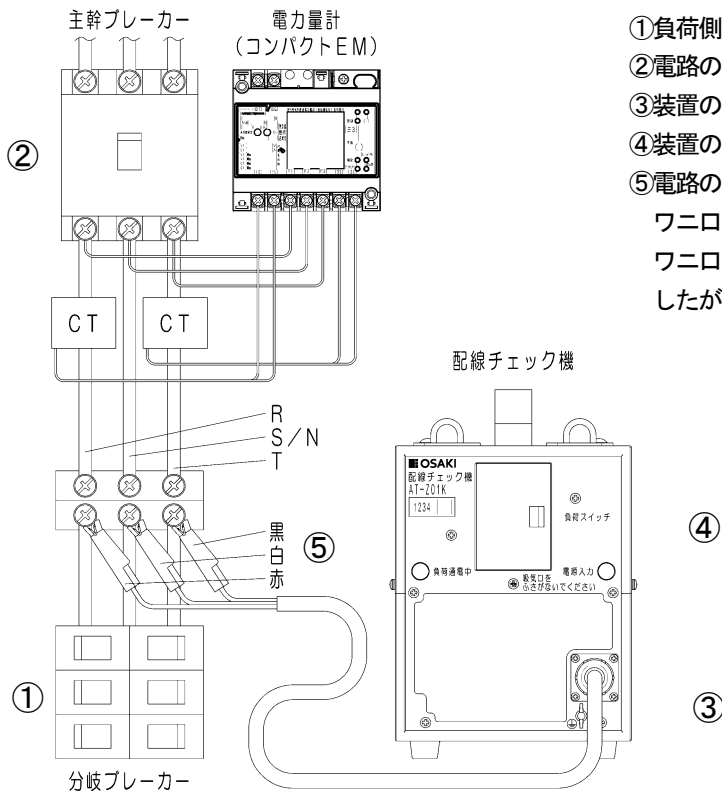
5-1. 接続手順

<CT 無し電力量計の場合>



- ① 負荷側の分岐ブレーカーを切ってください。
 - ② 電路の電源（電源側開閉器）を切ってください。
 - ③ 装置のアース端子にアース線を接続してください。
 - ④ 装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにしてください。
 - ⑤ 電路の端子部にワニロクリップを接続してください。
- ワニロクリップは接続先に適したサイズを選択してください。
ワニロクリップと電路の組み合わせは、次ページの表にしたがってください。

<CT 付電力量計の場合>



- ① 負荷側の分岐ブレーカーを切ってください。
 - ② 電路の電源（電源側開閉器）を切ってください。
 - ③ 装置のアース端子にアース線を接続してください。
 - ④ 装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにしてください。
 - ⑤ 電路の端子部にワニロクリップを接続してください。
- ワニロクリップは接続先に適したサイズを選択してください。
ワニロクリップと電路の組み合わせは、次ページの表にしたがってください。

表 ワニロクリップと電路の組み合わせ

電源ケーブル			ワニロクリップの色	電路（接続先）
種類	マーキング	色		
単相3線式／三相3線式用 (3ロタイプ)	R	赤	赤	R相
	S/N	白	白	S相/N相
	T	黒	黒	T相
単相2線式用 (2ロタイプ)	N	白	白	N相
	L	黒	黒	L相

 **警告**



禁止

- 活線作業禁止。
- 単相2線式の電路に単相3線式／三相3線式用の電源ケーブルを使用しない。
接続しないワニロクリップの金属部分が充電され火災・感電の原因。
- 電源ケーブルを束ねたままで使用しない。
火災・感電の原因。
- 電源ケーブルを無理に引っ張らない。傷つけない。重いものをのせない。
火災・感電の原因。



指示

- 以下の点を守って取り付ける。(火災・感電の恐れ)
- 電路への取付作業前に、電源（電源側開閉器）を切る。
 - 電路への取付作業は、低圧電気取扱業務に係る特別教育受講者が行う。
 - 電路の電源定格（相線式、電圧、周波数）が正しいことを確認する。
 - 外れると危険なので電路へワニロクリップを確実に取り付ける。
 - アース端子をアースに接続する。

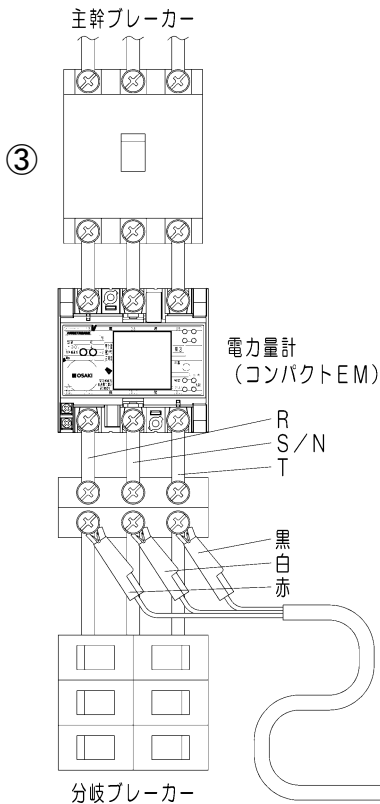
お願い

- ワニロと電路は正しい組み合わせで接続してください。
正しくない組み合わせで接続した場合、誤動作の原因となります。
- アース線の接続時は、蝶ボルトの紛失に注意してください。

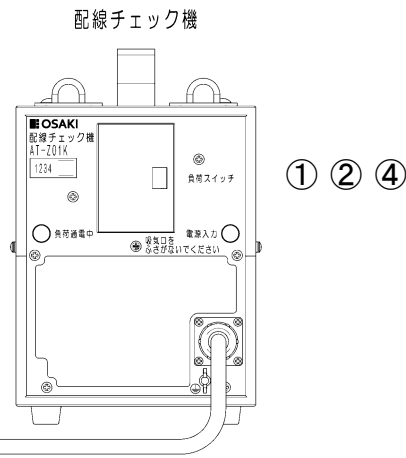
6. 使用手順【3】 運転時と停止時

6-1. 運転時

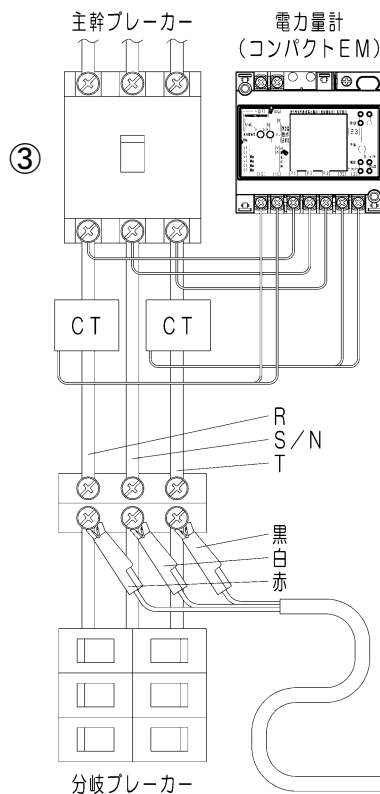
<CT 無し電力量計の場合>



- ①装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）がOFFであることを確認してください。
- ②装置の吸気口と排気口がふさがっていないことを確認してください。
- ③電路の電源（電源側開閉器）を投入してください。
このとき、電源入力LEDが点灯します。
- ④装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をONにしてください。
このとき、負荷通電中LEDが点灯し、ファンが動作を開始します。

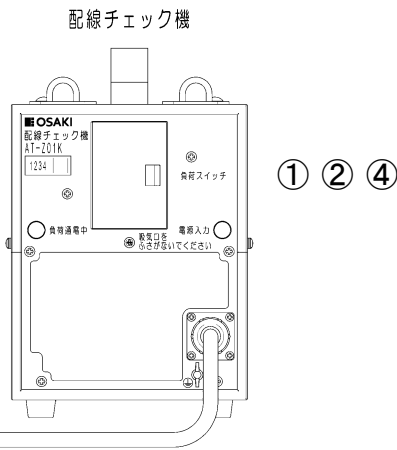


<CT 付電力量計の場合>



コンパクトEM

- ①装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）がOFFであることを確認してください。
- ②装置の吸気口と排気口がふさがっていないことを確認してください。
- ③電路の電源（電源側開閉器）を投入してください。
このとき、電源入力LEDが点灯します。
- ④装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をONにしてください。
このとき、負荷通電中LEDが点灯し、ファンが動作を開始します。



 **警告**



禁止

- ワニロクリップに触れない。
感電の原因。
- 吸気口と排気口をふさいだり、異物を入れない。
火災・感電・やけどの原因。

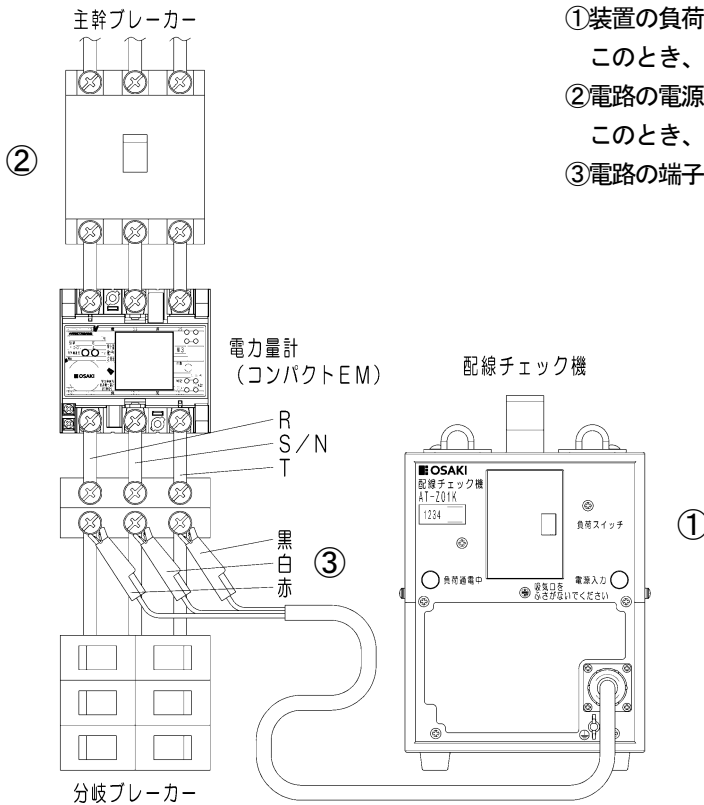


指示

- 装置本体はゴム足を下にし、安定した場所に置いて使用する。
ショルダーベルト等で体に密着した状態で使用すると、感電・やけどの原因。
- 運転時はその場を離れず、常に運転状況を確認する。
ワニロクリップが外れたり装置が倒されたりすると火災・感電の原因。
- 使用中にワニロクリップが外れたら、直ちに負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにする。
火災・感電の原因。
- 故障表示LEDが1個でも点灯したら、直ちに負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにし、
10分間は装置表面に触れない。
装置表面が高温になる場合があり、やけどの原因。

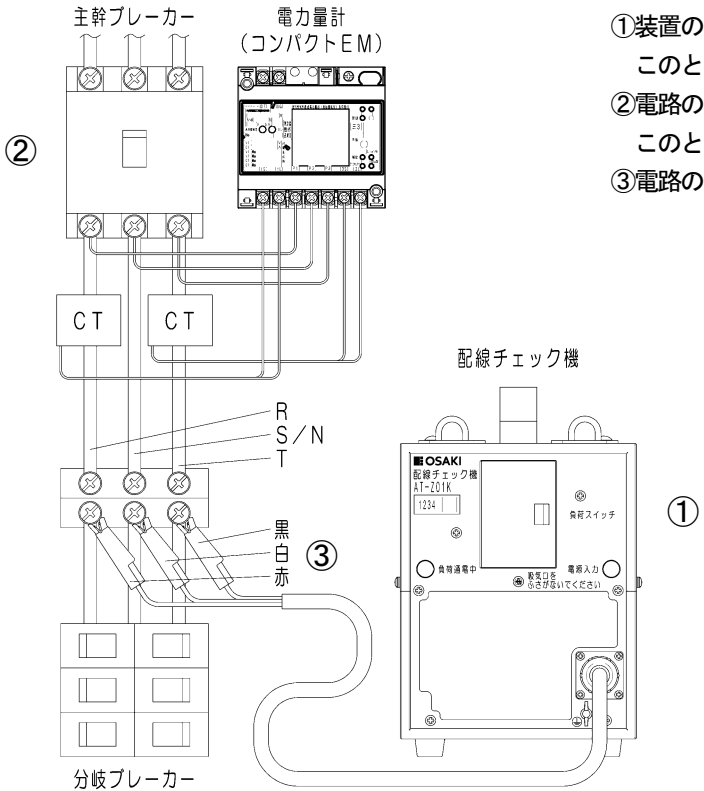
6-2. 停止時

<CT 無し電力量計の場合>



- ①装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにしてください。
このとき、負荷通電中LEDが消灯し、ファンが動作を停止します。
- ②電路の電源（電源側開閉器）を切ってください。
このとき、電源入力LEDが消灯します。
- ③電路の端子部からワニロクリップを取り外してください。

<CT 付電力量計の場合>



- ①装置の負荷スイッチ（漏電ブレーカー）をOFFにしてください。
このとき、負荷通電中LEDが消灯し、ファンが動作を停止します。
- ②電路の電源（電源側開閉器）を切ってください。
このとき、電源入力LEDが消灯します。
- ③電路の端子部からワニロクリップを取り外してください。

 警告



●活線作業禁止。



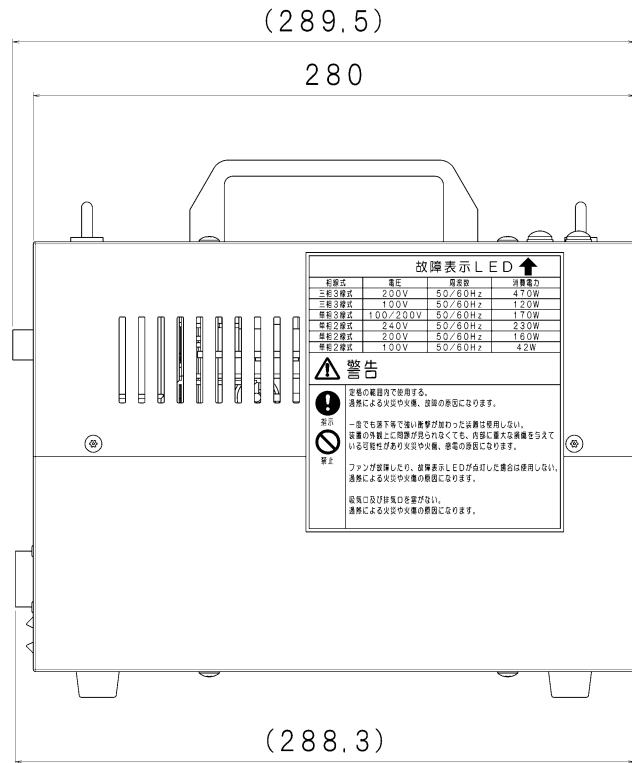
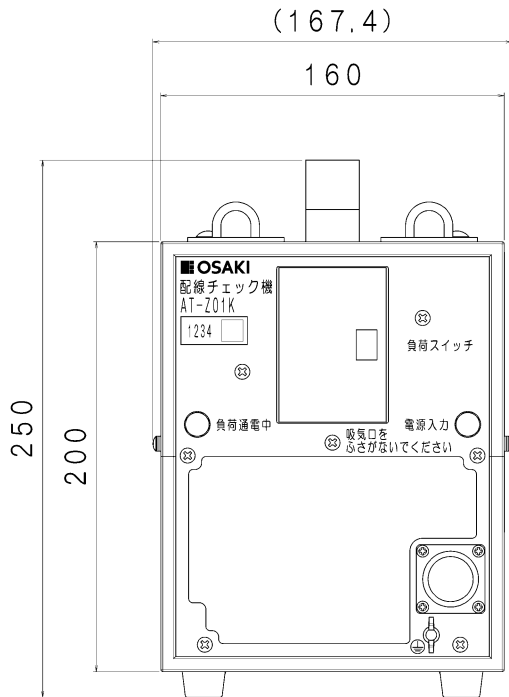
以下の点を守って取り外す。(感電などの恐れ)

- 取り外し作業前に、電源（電源側開閉器）を切る。
- 取り外し作業前に、負荷スイッチ（漏電ブレーカー）を OFF にする。
- 取り外し作業は、低圧電気取扱業務に係る特別教育受講者が行う。

7. 重量と外形寸法

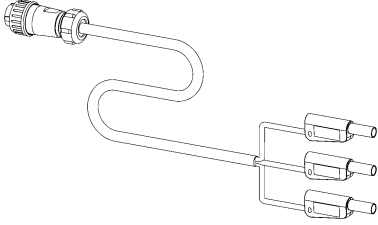
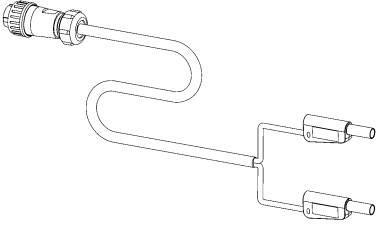
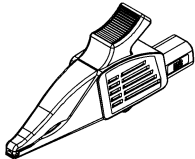
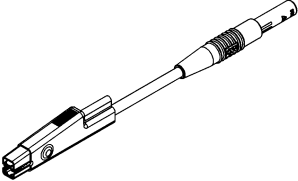
●重量 本体：約5.4kg 電源ケーブル：約0.2kg

●外形寸法



8. 付属品

装置本体に以下の付属品を同梱します。

付属品	型番	外観	数量
電源ケーブル (単相 3 線式/ 三相 3 線式用)	AAE005107-a		1 個
電源ケーブル (単相 2 線式用)	AAE005107-b		1 個
ワニロクリップ (大)	ABSC90348-001 (黒)		1 個
	ABSC90348-002 (赤)		1 個
	ABSC90348-003 (白)		1 個
ワニロクリップ (小)	AAE005174-a (赤)		1 個
	AAE005174-b (白)		1 個
	AAE005174-c (黒)		1 個
取扱説明書	-	本書	1 個

9. 保証の期間と範囲

9-1. 保証期間

本装置の保証期間は、お客様のご指定場所に納入後1年間です。

9-2. 保証範囲

上記保証期間内に当社契約不適合責任による故障が納入後1年以内に発生した場合は、無償で代替品と交換をいたします。ただし、保証期間内であっても、次に該当する故障の場合は保証対象外です。

なお、代替品との交換を行なった場合の保証期間の起算日は、対象製品の当初ご納入日となります。

- ①取扱説明書、別途取交わした仕様書／契約書等に記載された安全上の注意事項とそれ以外の不適當な条件・環境・扱い・使用方法に起因した故障。
- ②①が起因したことによるお客様での二次損害（装置の損傷、機会損失、逸失利益等）。
- ③お客様の装置または、ソフトウェアの設計内容など、対象製品以外に起因した故障。
- ④当社以外による改造、修理に起因した故障。
- ⑤取扱説明書の記載通りに正しく使用されていれば、防止できたと確認できる故障。
- ⑥納品時の科学・技術水準・世界動向（戦争・紛争）では、予見が不可能だった事由による故障。
- ⑦その他、火災、地震、水害などの災害及び電圧異常など当社の責任ではない外部要因による故障。

9-3. 保証の適用用途

当製品は、日本国内における一般工業向け・電気の汎用品です。

従いまして、下記のような用途での使用は意図しておりませんので保証の適用外といたします。

ただし、事前に当社までご相談いただき、お客様の責任において製品の仕様をご確認のうえ、定格・性能に対してご了承いただき、必要な安全対策を講じていただく場合は適用可能といたします。

なお、この場合においても保証範囲は上記と同様といたします。

- ①海外諸国や地球外での設備・環境での使用。
- ②原子力発電、航空、鉄道、船舶、車両、医療機器等の人命や財産に多大な影響が予想される設備。
- ③取扱説明書で規定していない条件・環境での使用。
- ④上記②及び③に準じる安全に関して高度な配慮と注意が要求される用途。



お願い

- 製品をご使用の際には、必ず本取扱説明書をお読みください。
- 記載内容は、設計変更その他の理由により、ご連絡申しあげることなく変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書は、お買い上げ時に製品本体に付属しているもの以外は有償となりますので、あらかじめご了承ください。

◎製品に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

大崎電気工業株式会社

営業本部 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア

共創デザイン推進室 エネルギーソリューション部

〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア

営業推進課 電話(03)3443-7177 FAX(03)3443-0265

営業開発課 電話(03)3443-7261 FAX(03)3443-7262

札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西4丁目6-1 札幌大通西4ビル 5F

電話(011)251-6622 FAX(011)210-0258

仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-5-1 オーク仙台ビル

電話(022)223-3747 FAX(022)223-8159

名古屋営業所 〒461-0004 名古屋市中区葵3-23-10 千種ファーストビルかとう3F

電話(052)933-2229 FAX(052)933-0650

大阪営業所 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-9 三栄ビル

電話(06)6373-2556 FAX(06)6375-0681

広島営業所 〒730-0037 広島市中区中町9-12 中町三井ビル6F

電話(082)243-1611 FAX(082)243-9039

沖縄営業所 〒902-0077 那覇市長田1-22-18

電話(098)832-7406 FAX(098)836-8655

<https://www.osaki.co.jp/>